

住民の皆様へ

養豚場での豚熱発生を防ぐため、野生イノシシへの豚熱ウイルス拡散防止に向けた経口ワクチンの散布にご理解をお願いします。

1. 豚熱とは？

豚熱（CSF）は、豚とイノシシが感染する家畜伝染病です。

豚熱は豚やイノシシの病気であって、人に感染することはありません。仮に、豚熱にかかった豚やイノシシの肉を食べても、人体に影響はありません。

しかし、豚には感染力の強い病気で、豚が感染すると養豚業に大きな被害を与えます。本県でも養豚場において1農場（令和5年7月）に豚熱の感染が確認され、また野生イノシシにおいても、今年度6頭の感染が確認されています（令和8年4月24日時点）。

2. 豚熱の感染拡大を防ぐために

養豚場への豚熱ウイルスの侵入を防ぐために、養豚場の周辺に野生イノシシに対する経口ワクチンを散布し、野生イノシシへの感染拡大を防ぎます。

(1) 実施体制

県から兵庫県猟友会に業務委託し、猟友会と(株)野生鳥獣対策連携センターが協力して散布を実施します。

(2) 散布市町（11市町）

豊岡市、養父市、丹波篠山市、三田市、神戸市、三木市、姫路市、たつの市、佐用町、洲本市、南あわじ市

(3) 実施時期

前期：令和8年5～7月

後期：令和8年10月～11月（豪雪地帯）、令和9年2～3月

(4) 散布方法

他の動物が食べないように土の中に埋めます。

埋めた場所には石や瓦を置きます（写真参照）。

散布して約5日後にイノシシが食べ残したワクチンは摂食率を調査するため回収します。

(5) 経口ワクチンについて

ワクチンは安全性が確認されており、生態系への影響はなく、人やペットが誤ってワクチンを摂取しても健康上問題はありません。

経口ワクチン



ワクチンが入ったアルミ包の周りを トウモロコシ粉等で固めてあります。イノシシが食べることでワクチンの効果が得られます。

ワクチン散布後の状況



他の動物に食べられないように、埋めた場所に石や瓦を置きます。回収時に石や瓦は片づけます。

3. 皆様へのお願い

- (1) 県内でも、豚熱に感染した野生イノシシが確認されているため、山林から下山の際は、靴底等に付着した土を洗い流すなど、感染の拡大防止に御協力をお願いします。
- (2) ワクチンを発見した場合は、触らないで下記に連絡してください。

【問い合わせ先】兵庫県野生イノシシCSF対策協議会（兵庫県農林水産部畜産課）

TEL：078-362-3457

FAX：078-362-3632